

Title

## Minimally Invasive Full-mouth Rehabilitation utilizing Microscope

大河 雅之  
代官山アドレス歯科クリニック

審美修復治療は、バイオミメティックアプローチという考え方の浸透、接着技術と疾患の原因に対するアプローチが進んだ現在、必要最小限の処置で適切な効果をあげる治療が目指されている。技術的にはマイクロスコープの応用により高い精密性と予知性が得られてきている状況にある。

本講演では審美修復治療における MI を考慮した治療計画立案、マイクロスコープを応用したボンデッドポーセレンレストレーションの有用性について臨床症例をとうして解説したい。また、イボクラ社の IPS e.max システムの MI 治療における臨床的使用方法についても考察する。

1962 年 岩手県出身

1987 年 奥羽大学歯学部卒業

2001 年 代官山アドレス歯科クリニック開院

東京 S J C D 副会長

イボクラビバデント社 ローカル オピニオンリーダー

AMED (米国マイクロスコープ歯科学会) 前理事

EAED (ヨーロッパ審美歯科学会) 会員

奥羽大学歯学部同窓会本部学術部長

日本歯科審美学会 認定医

日本顎咬合学会 認定医